

# 令和8年度予算見積調書

課室名：畜産安全課  
担当名：畜産振興担当  
内線：4194

(単位：千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業
P37	スタートアップ！卵肉いいとこどり開発事業	一般会計	農林水産業費	畜産業費	畜産振興費	畜産経営改善対策費
事業期間	令和3年度～ 令和10年度	根拠法 令	養鶏振興法第18条	針路 分野施策	12 1202	儲かる農林業の推進 強みを生かした収益力のある農業の確立 SDGsゴール2 SDGsターゲット2-4

## 1 事業概要

加工業務用需要の減少による全国的な卵価低迷が続く中、特徴ある鶏卵による販売力を強化するため、本県種鶏を活用したブランド採卵鶏を開発し養鶏振興を図る。また、農業高校と連携し彩の国地鶏タマシヤモ原種鶏の分散飼育を行い、鳥インフルエンザ発生時のリスクを回避する。

ア 卵肉いいとこどり開発研究事業	3,339千円
イ 卵肉いいとこどり生産事業	2,308千円
ウ 卵肉いいとこどり供給販売推進事業	1,869千円
エ 農業高校連携推進事業	695千円

## 2 事業主体及び負担区分 (県10/10)

## 3 地方財政措置の状況 なし

## 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 $9,500\text{千円} \times 0.3\text{人} = 2,850\text{千円}$

## 5 事業説明

### (1) 事業内容

県内養鶏農家の約8割の中小規模農家は、鶏卵を直接販売(庭先販売)しており、収益性の向上を図るために、他との差別化が得られる特色のある採卵鶏の開発が求められている。そこで、彩の国地鶏タマシヤモの種鶏を基に、採卵性に優れ、鶏肉としても利用価値のある本県独自のブランド採卵鶏を開発した。

開発したブランド採卵鶏を県内養鶏農家に供給するとともに、当該採卵鶏を生産する際に産まれる雄鶏を肉用鶏として活用できるよう検討を行う。

また、農業高校と連携し、鳥インフルエンザ発生のリスク回避のためのタマシヤモ原種鶏の分散飼育を行い、タマシヤモの維持を図る。

ア 卵肉いいとこどり開発研究事業	3,339千円
イ 卵肉いいとこどり生産事業	2,308千円
ウ 卵肉いいとこどり供給販売推進事業	1,869千円
エ 農業高校連携推進事業	695千円

県の技術・種鶏を活用したブランド採卵鶏の雄鶏の肉用鶏としての活用の検討

イ 卵肉いいとこどり生産事業	2,308千円
ウ 卵肉いいとこどり供給販売推進事業	1,869千円
エ 農業高校連携推進事業	695千円

県内の養鶏農家に供給販売するブランド採卵鶏の飼育と販売

ウ 卵肉いいとこどり供給販売推進事業	1,869千円
エ 農業高校連携推進事業	695千円

卵肉いいとこどりの供給販売方法の検討

農業高校におけるタマシヤモ原種鶏の分散飼育

### (2) 事業計画

令和3年度～ 卵肉いいとこどり開発研究、供給販売方法の検討、タマシヤモ原種鶏分散飼育、機械整備

### (3) 事業効果

卵・肉ともに利用可能な本県独自のブランド採卵鶏を開発し、他との差別化ができる高付加価値畜産物として活用されることで農家の収益性の向上が図られる。

さらに、分散飼育によって鳥インフルエンザからの危機回避が図られる。

#### 【事業実績(アウトプット)】

雄鶏の活用方法の検討、販売方法等検討会の開催(4回)、タマシヤモ原種鶏の分散飼育(3校70羽)

#### 【成果目標(アウトカム)】

養鶏農家の卵肉兼用鶏ヒナの導入(令和8年度 1,400羽)、活用農家の所得向上(令和9年度 1.24倍)

予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との対比
		財産収入	寄附金					
決定額	8,211	2,307					5,904	3,207
前年額	5,004	421	1,000				3,583	

## 事業内訳書

事業名	スタートアップ！卵肉いいとこどり開発事業		
単位事業名	卵肉いいとこどり開発研究事業	予算額	3,339千円

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	3,339	△309	
合計	3,339	△309	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	18	△5	県内旅費(会議)、県外旅費(調査・研修)
需用費	1,088	△66	開発研究用経費(消耗品、修繕料、飼料費、医薬材料費)
役務費	660	89	郵券、鶏肉分析検査費、食鳥処理料
備品購入費	1,573	△327	開発研究用設備購入費
合計	3,339	△309	

単位事業名	卵肉いいとこどり生産事業	予算額	2,308千円
-------	--------------	-----	---------

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
財産収入・ 生産物売扱収入	2,307	2,307	農業技術研究センター 卵、大雛
一般財源	1	1	
合計	2,308	2,308	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	7	7	県内旅費(普及推進)
需用費	2,199	2,199	ひな生産用経費(消耗品、種卵、修繕料、飼料費、医薬材料費)
役務費	102	102	郵券、種卵運搬費、雌雄鑑別料
合計	2,308	2,308	

単位事業名	卵肉いいとこどり供給販売推進事業	予算額	1,869千円
-------	------------------	-----	---------

○歳入 (単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	1,869	1,206	
合計	1,869	1,206	

○歳出 (単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	49	0	協議会構成員謝金 7人分
旅費	27	4	県内旅費(会議)
需用費	215	△169	消耗品、資料・販促物印刷費
役務費	65	55	郵券、調理依頼料
委託料	1,513	1,316	商標登録委託料、販促物デザイン委託料
合計	1,869	1,206	

単位事業名	農業高校連携推進事業	予算額	695千円
-------	------------	-----	-------

○歳入 (単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	695	2	
合計	695	2	

○歳出 (単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	6	4	県内旅費(指導)
需用費	689	△2	飼料費、医薬材料費
合計	695	2	